



読書週間関連イベント



企画展 **競技かるたと百人一首**

10月7日(木)～11月23日(火・祝)

講演会 **競技かるたの魅力**

～ちはやぶるの世界をご紹介します～

とき 10月31日(日) 13:30～15:00

講師

小倉百人一首
競技かるた永世名人

西郷 直樹さん



講演会では、「畳の上の格闘技」と言われる百人一首競技かるたの世界を西郷名人が紹介します。また競技かるたの実演では、西郷名人と3人1組で対戦できます。(抽選で5組限定)奮ってご参加ください。

対象 中学生以上

申込受付 10月8日(金) 9時30分から
電話・電子メール・図書館カウンター

※ 電子メールでのお申し込みは
件名に「読書週間講演会申込」とし、
参加者氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、
送信ください。



メールアドレス QRコード

****講師紹介****

1978年大分県生まれ。小学校入学時に競技を始め、小・中・高・大学の全ての世代別選手権で優勝。1999年の名人位決定戦にて史上最年少名人となる。その後2003年まで5期連続名人位を保持し、永世名人となる。以降2012年まで14期連続で名人位を防衛、在位記録、連勝記録などを打ち立て2013年大会出場を辞退し後進へ譲る。現在は三島市にて主に小中学生を対象に競技の指導を行う「三島せせらぎ会」を創設し活動中。

秋に知りたい、本のあれこれ

『BOOK BAR お好みの本、あります。』

杏//著 大倉 眞一郎//著 新潮社 2018.2 1階一般/019

本をきっかけとしたよもやま話を繰り広げるラジオ番組で、10年のあいだに紹介したおよそ1000冊の中から、珠玉の50冊を厳選して書籍化。

ジャンルは歴史、食べ物、海外、科学と多種多彩!

二人のテンポの良い会話と、読んだからこそリアルな言葉から、好みの本を見つけてみませんか?

冒頭から幕末愛全開の杏さんに圧倒される大倉さんの反応に注目です。なんでも、大倉さんからみた杏さんの第一印象は「とんでもないポケモンとタグを組まれた」だったそう。

本を肴に、心ゆくまで語り合う。こんなバーがあったら行ってみたい!



『拝啓、本が売れません』

額賀 濤//著 ベストセラーズ 2018.3 1階一般/023.1
文藝春秋 2020.7 1階文庫/023.1

文学賞W受賞の平成生まれの作家が直面した本が売れないという事態に、編集者や書店員に売れる本の秘訣を自ら取材! 試行錯誤して作ったのがこの本です。これからの売れる本には、公式サイトやSNSでの宣伝は欠かせないのだそう。「創作物に面白くない作品は一つもない」という、ある編集者のこの言葉は名言。



『文庫本は何冊積んだら倒れるか』

堀井 憲一郎//著 本の雑誌社 2019.9 1階一般/020.4

本は読む以外にこんな使い道があったのか……。文庫本は何冊積んだら倒れるか、『レ・ミゼラブル』の主人公ジャンバルジャンは、(話が脱線しすぎて)どのくらいの期間登場しないかなど、本を読むには役に立たないけれど気になることを、調査・実験したという本の雑学。



高校生しやべり場

毎年、市内の高校等から代表者が参加し、おのおの思い思いの意見を交わし合う「高校生しやべり場 in ぬまづ」が開催されているのはご存じですか? 今年のテーマは、今話題のSDGs (エスディージーズ)。17のテーマから選ばれたのは環境と自然です。残念ながら今年度の開催は緊急事態宣言のため延期となっていますが、SDGsはこの世界にいるだれもが主演。未来を担う高校生が今考える「よりよい社会にするためにはこれからどうしたらいいのだろう?」を、皆さん一緒に考えてみませんか? SDGsはもちろん、環境や自然のことについて、身近なことで疑問に思ったことは図書館に行って、聞いてみよう! 新しい発見があるかもしれません。図書館は「高校生しやべり場 in ぬまづ」を応援しています!





臨濟宗松蔭寺

白隠 は、貞享2年（1685）原宿の町家、澤瀉屋（おもだかや）長澤家の三男として生まれ、岩次郎と名付けられました。

11歳の時に昌源寺で地獄についての説法を聞き、地獄の苦しみから逃れる道を求めて、愛鷹山の八畳石や赤野観音堂で座禅をしたといわれています。15歳の時、臨濟宗松蔭寺で得度し、慧鶴（えかく）と名乗りました。

19歳で修行の旅に出て、33歳で松蔭寺の住職に就きます。晩年にかけて各地を巡り、明和5年（1768）84歳で亡くなるまで、禅の教えを広めました。

地名の由来（その22）

白隠と原宿 -旧原町地区Ⅱ-



白隠慧鶴 布袋画



八畳石



白隠慧鶴 五位鷺図団扇

享保2年（1717）当時の松蔭寺は、借財にまみれて荒廃していました。白隠は住職として、親戚や檀家・門人の力を借りながら寺を立て直します。公家・大名から庶民まで多くの人々に禅の精神を伝えるため、布袋・釈迦・達磨・観音などの姿を絵で表しました。その絵は後に「禅画」と呼ばれる芸術ジャンルを築きました。



2 白隠
階 関連
集 図書
角 コー
に ナー
あり
ます。

『かわいい禅画 白隠と仙厓』
東京美術 2016.5 2階郷土 K720

そして、自らの言葉を出版物としても残しています。大名の悪政を糾弾した『辺鄙以知吾』（へびいちご）は、幕府から禁書の処分を受けました。

また、弟子が編集した語録に『荊叢毒薬』（けいそうどくずい）があります。禅画のひとつに、布袋がすたすた坊主になって、笑顔で駆ける姿が描かれています。すたすた坊主とは、代理で参詣や修行を行う坊主のこと。それは禅の教えを惜しみにくく伝えた自身の姿であり、その精神を表しています。

白隠は「臨濟宗中興の祖」と称せられ「駿河には過ぎたるものが二つあり 富士のお山に原の白隠」と讃えられました。500年にひとりの名僧として現在も知られています。

歴史小説イノベーション「^{そうご}操觚の会」 歴史の面白さ、歴史小説の楽しさを伝えたい！！

「操觚の会」：鈴木英治・秋山香乃夫妻が所属する日本の歴史小説作家・時代小説作家の団体。全員現役プロ作家。



その活動はトークショー・史料の読み方・歴史小説の楽しみ方・書き方講座など、もちろん斬新な作品を発表すること。『幕末暗殺!』は操觚の会メンバーより刊行された初めての書籍。血塗られた暗殺事件の数々に、創造力と推理を駆使して斬り込む。『足利の血脈 書き下ろし歴史アンソロジー』は戦国を語るうえで欠かせない「足利氏」をテーマにした連作短編集、「もう一つの戦国史」を。『妖（あやかし）ファンタスティカ書き下し



伝奇ルネサンス・アンソロジー』では、なぜ葛城皇子（のちの中大兄皇子）が蘇我入鹿を討ったのか？

歴史小説に風穴をあけんとする作家集団「操觚の会」が想像力の可能性に挑む。

○操觚とは、古代中国で文字を書くのに用いられた「觚」という木札を「操」る、すなわち文筆業の意でその語感が会にふさわしいと命名。

🏰次回は『戦国の城 アンソロジー(ずおか)』を！徳川、今川、北条、武田…群雄が割拠した静岡県の城を舞台とする物語作品に登場する「岡部元信」をご紹介します：今川義元・氏真の重臣。桶狭間の戦いのとき、最前線の鳴海城を守り、義元討死後も籠城、織田信長に義元の首の返還を要求したことで有名。甲相同盟の締結に伴い、武田氏に仕官。高天神城の城番となり、徳川家康軍との戦いで壮絶な討死を遂げる。鈴木英治さんの『血の城』、『にわか雨』にも登場。

～元信は走りまわっていた。楽しかった。最期をこんな華々しい戦いで終えられる武者が果たしてどれだけのものか。

すでに六人を槍にかけた。いずれも勇猛を感じさせる武者だったことが元信をさらに満ち足りた思いにさせていた。～『血の城』より